

2020年12月期 第2四半期 決算説明会



清和中央ホールディングス



2020年8月



経営環境について

市場動向

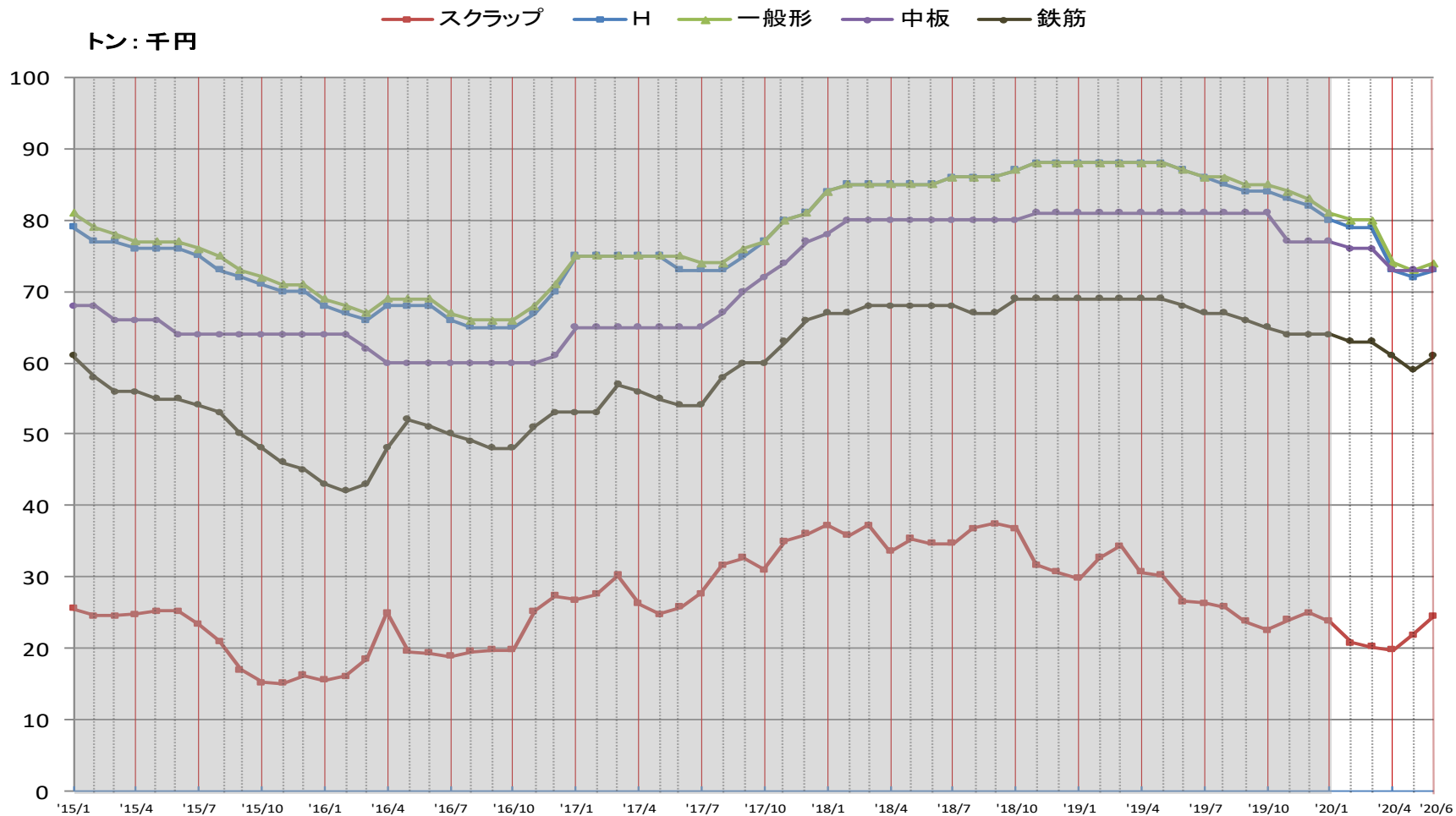
製造業界 消費税引き上げに伴う国内景気低下に加え、昨夏より海外景況の悪化に伴い、特に輸出産業を中心に生産の減少傾向が強まる。また、昨秋の水害による一部部品供給の停滞により建機、農機、工業機械業界などで生産縮小の動きが加速、さらに3月以降には、多くの業界において、コロナ問題による輸出、内需減に加え、操業休止措置も多発し、鉄鋼内需は鋼板類、特殊鋼類を中心に急減となった。

建設業界 公共土木は、まだ底堅く推移しているものの、建築は一昨年でピークアウトし、昨年前半より前年比1割程度の縮小が続く。FAB業界も大手でも超繁忙から通常の繁忙程度に落ちてきた。

流通業界 建築向け主体の条鋼・建材商品の販売実績は、前年比1割程度の減少で留まっているが、製造業向け比率の高い鋼板類、特殊鋼類は昨夏より月を追って減少幅が拡大し、4～6月期には3割近い減少となった。

鋼材市況について

鋼材価格も昨夏以降から値下がりが続いており、特に3月以降はさらに値下がりが加速した。



グループ収益について

- ・ 当社グループ業績は、販売数量の減少、鋼材価格値下がりに伴う在庫品の販売利鞘縮小、在庫品評価損拡大等により減収、赤字転落と非常に厳しい結果となった。

個別業績（子会社）

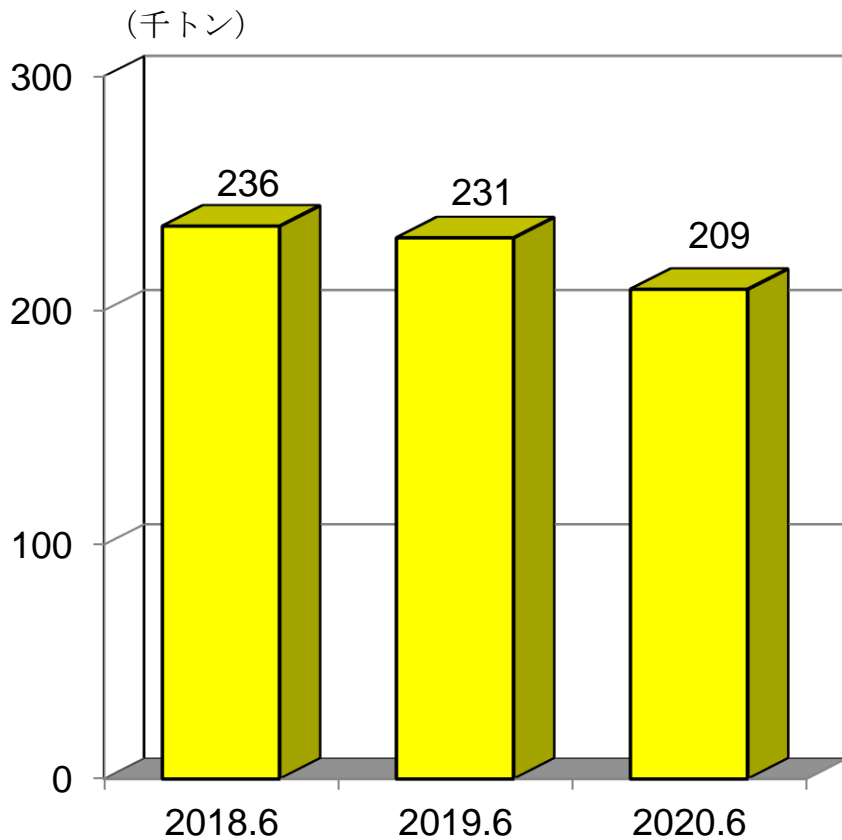
| | | 清和鋼業 2020年 第2四半期 | 中央鋼材 2020年 第2四半期 |
|--------|-----|---------------------|---------------------|
| 売上数量 | 千トン | 113 | 96 |
| 売上高 | 百万円 | 10,668 | 11,470 |
| 営業利益 | 百万円 | 95 | △196 |
| 経常利益 | 百万円 | 131 | △188 |
| 税前利益 | 百万円 | 131 | △188 |
| 四半期純利益 | 百万円 | 86 | △123 |

経営成績推移（連結）

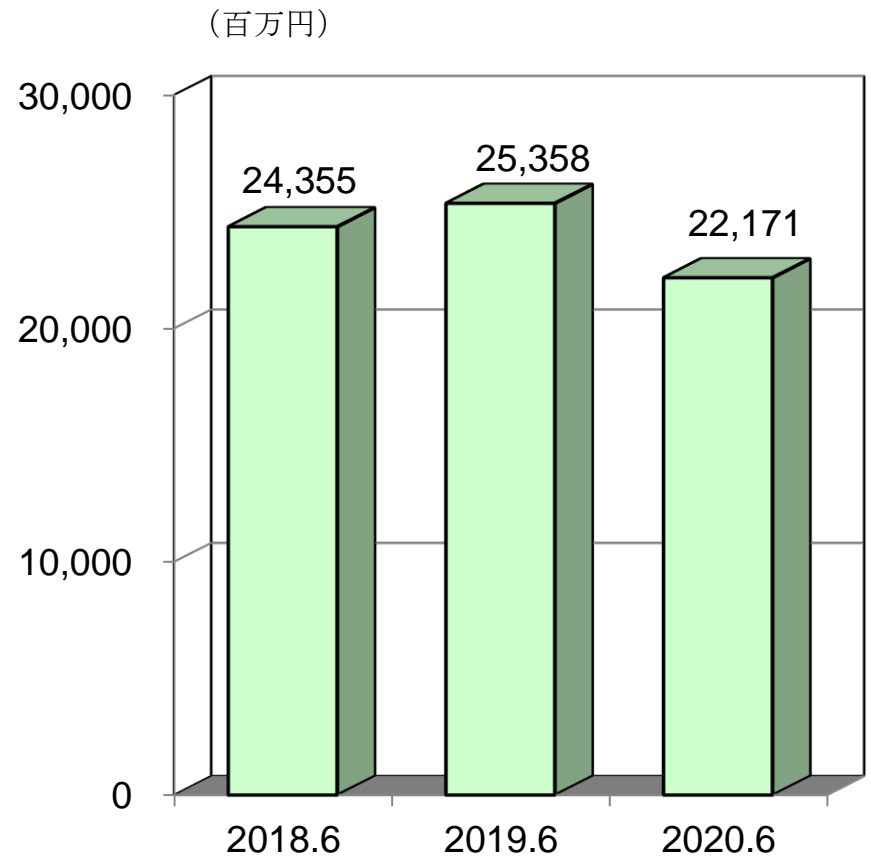
| | 2018年 第2四半期 | 2019年 第2四半期 | 2020年 第2四半期 |
|-----------------------------|----------------|----------------|----------------|
| 売上数量 千トン | 236 | 231 | 209 |
| 売上高 百万円 | 24,355 | 25,358 | 22,171 |
| 営業利益 百万円 | 712 | 587 | △49 |
| 経常利益 百万円 | 765 | 646 | △6 |
| 税前利益 百万円 | 765 | 646 | △6 |
| 親会社株主に帰属する 四半期純利益 百万円 | 486 | 411 | △10 |

経営成績推移 (連結)

売上数量



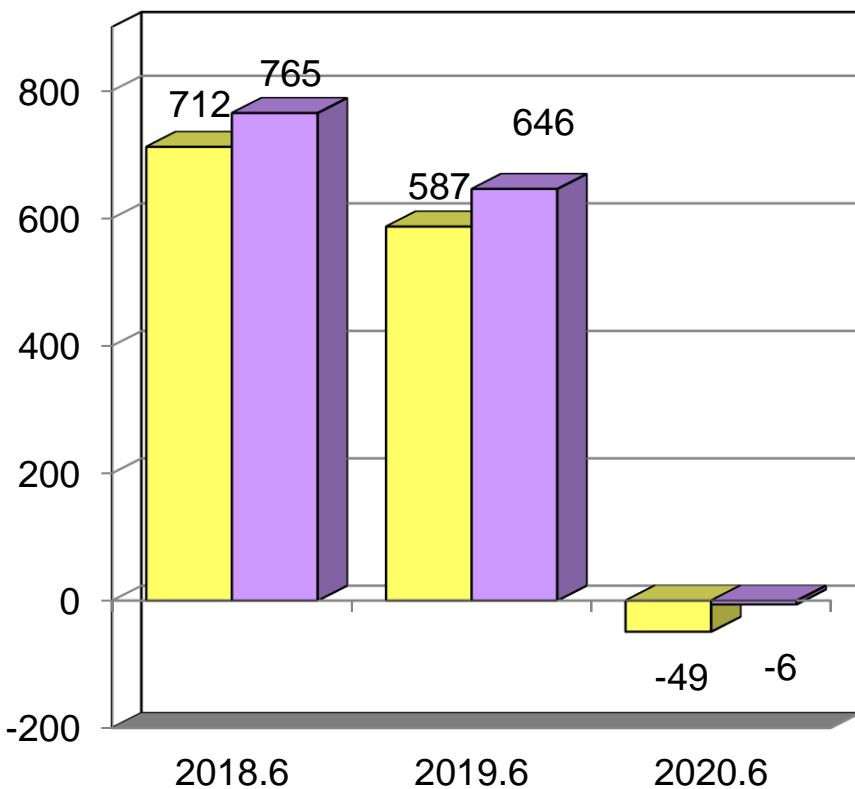
売上高



経営成績推移 (連結)

営業利益および経常利益

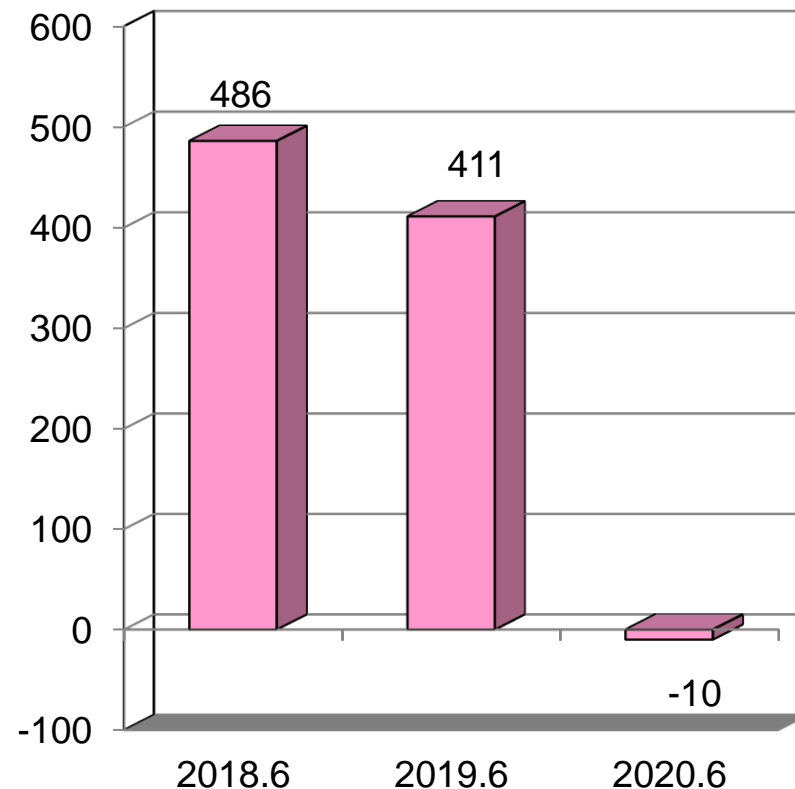
(百万円)



■ 営業利益 ■ 経常利益

純利益

(百万円)

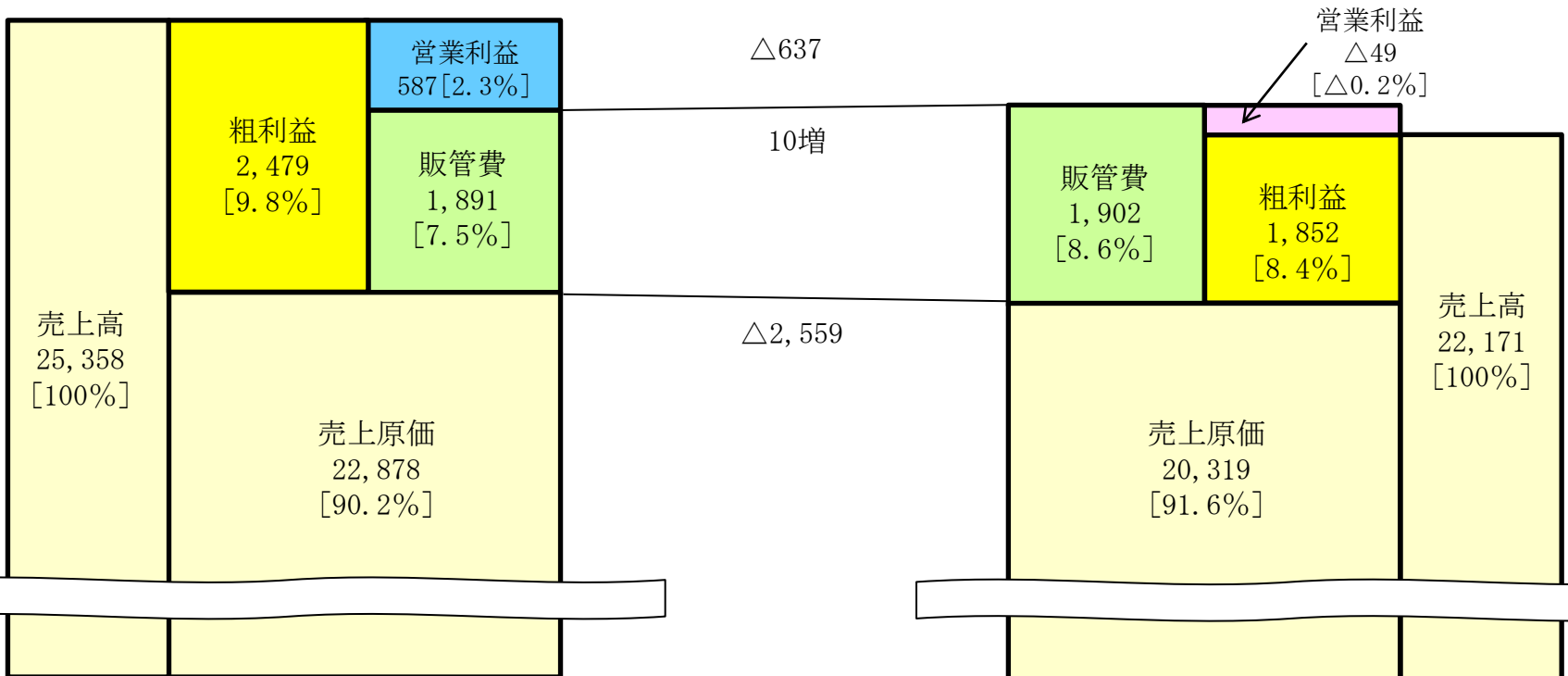


前年比増減分析 (連結)

〔 〕: 売上高構成比率
 単価: 百万円

2019年 第2四半期

2020年 第2四半期

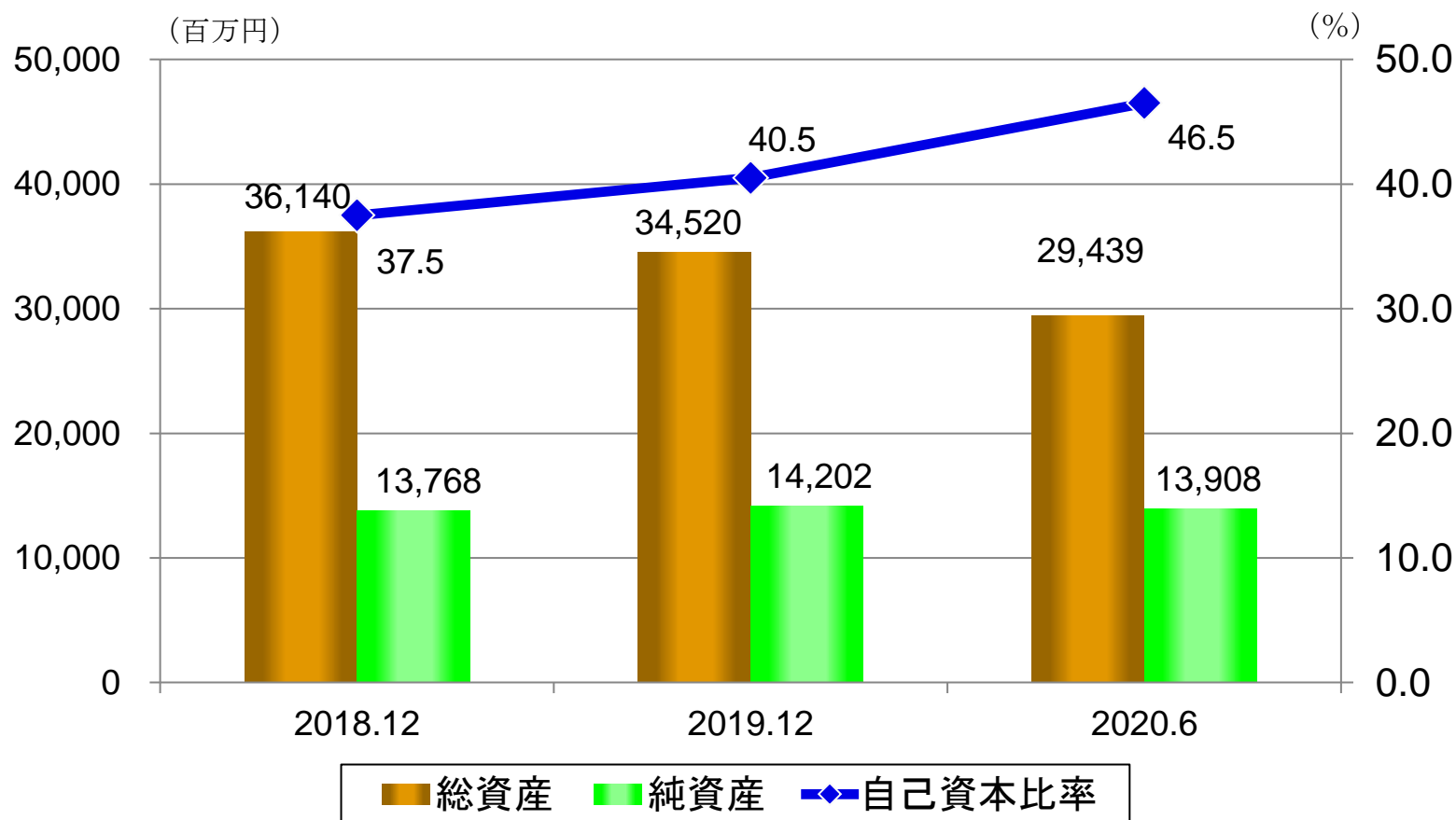


財政状態推移（連結）

| | 2018年12月期 | 2019年12月期 | 2020年 第2四半期末 |
|-------------|-----------|-----------|-----------------|
| 総資産 百万円 | 36,140 | 34,520 | 29,439 |
| 負債 百万円 | 22,372 | 20,318 | 15,531 |
| 純資産 百万円 | 13,768 | 14,202 | 13,908 |
| 自己資本比率 % | 37.5 | 40.5 | 46.5 |

財政状態推移 (連結)

総資産・純資産・自己資本比率



1株当たり情報（連結）

| | 2018年 第2四半期 | 2019年 第2四半期 | 2020年 第2四半期 |
|-----------------------|----------------|----------------|-----------------|
| 1株当たり純利益 ^円 | 124.25 | 105.01 | △2.65 |
| | 2018年12月期 | 2019年12月期 | 2020年 第2四半期末 |
| 1株当たり純資産 ^円 | 3,457.14 | 3,566.47 | 3,493.49 |

下期の見通しについて

内需見通し

製造業界 造船以外は、生産の急減速した4～6月期よりは回復が見込まれるが、建機でも大型機種、農機、工作機械は回復困難が予想され、業種や個別企業で格差はあるものの、全般的にはV字回復には至らないと思われる。

建設業界 公共土木は堅調な推移が見込まれるが、建築に関して小規模ホテル案件は内定分を含めすべて中止でほぼ壊滅状態である。中小物件でも倉庫、工場、店舗などの計画案件で見送り等の動きが多発している影響がすでに出ている。また、大型案件も年内施行案件での大幅な減少懸念は低いと思われるが、来年以降のホテル、オフィスビル併設開発案件などで延期等、今後の建築需要量には懸念材料が多く感じられる。すでにGC、FAB業界に安値での受注競争の様相気配が出てきており、建設業界はこれから悪化本番の懸念が大きい。

以上の通り、当社グループにとって、下期も非常に厳しい環境が続くと想定される。

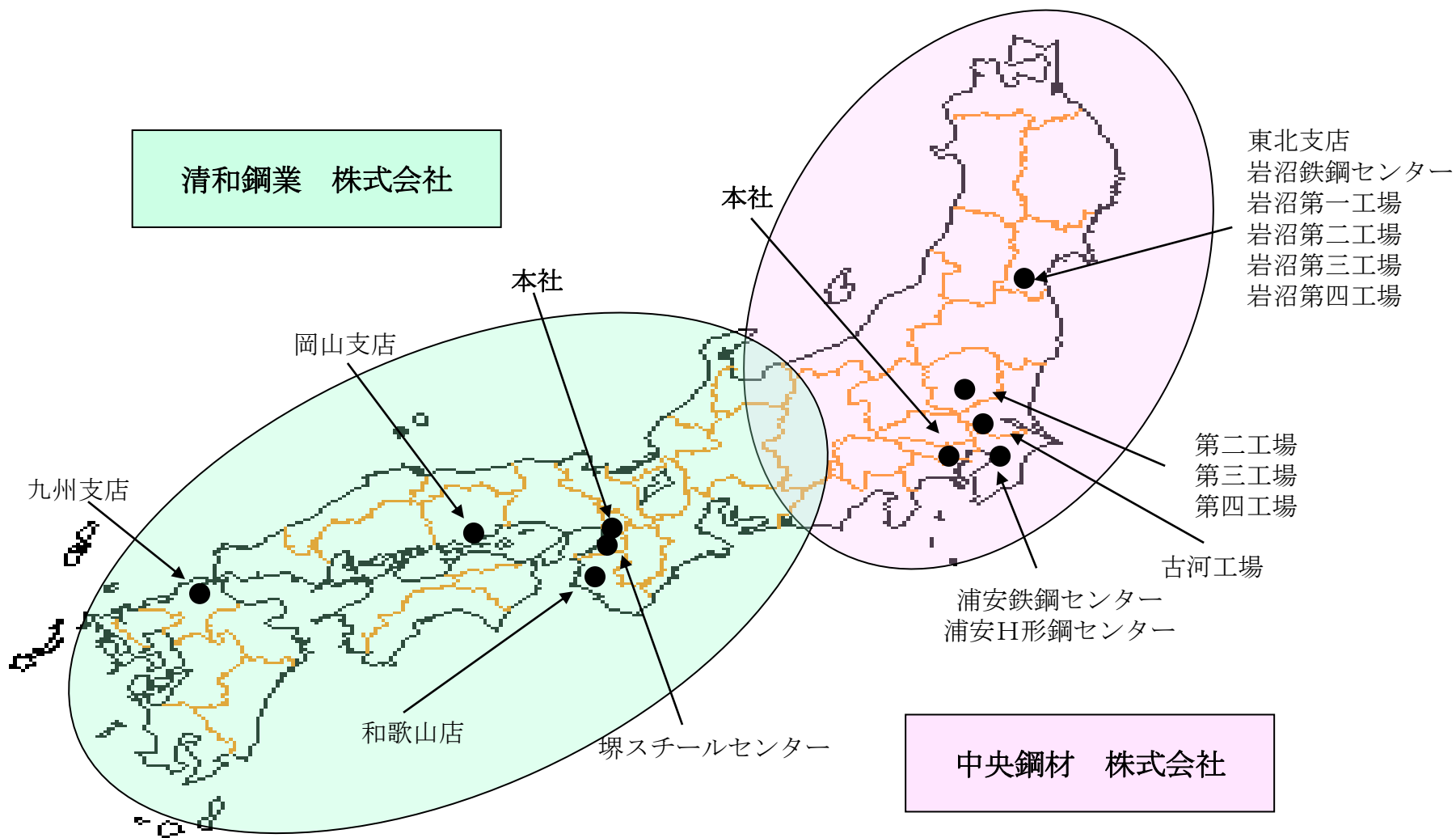
個別業績予想①（子会社）

| | 清和鋼業 | | 中央鋼材 | |
|--------------|-----------------|-------------------|-----------------|-------------------|
| | 2019年12月期 実績 | 2020年12月期 業績予想 | 2019年12月期 実績 | 2020年12月期 業績予想 |
| 売上数量 千トン | 251 | 225 | 225 | 197 |
| 売上高 百万円 | 26,185 | 21,964 | 26,655 | 21,515 |
| 営業利益 百万円 | 329 | 166 | 385 | △189 |
| 経常利益 百万円 | 391 | 229 | 418 | △171 |
| 税前利益 百万円 | 391 | 229 | 418 | △171 |
| 当期純利益 百万円 | 259 | 150 | 301 | △113 |

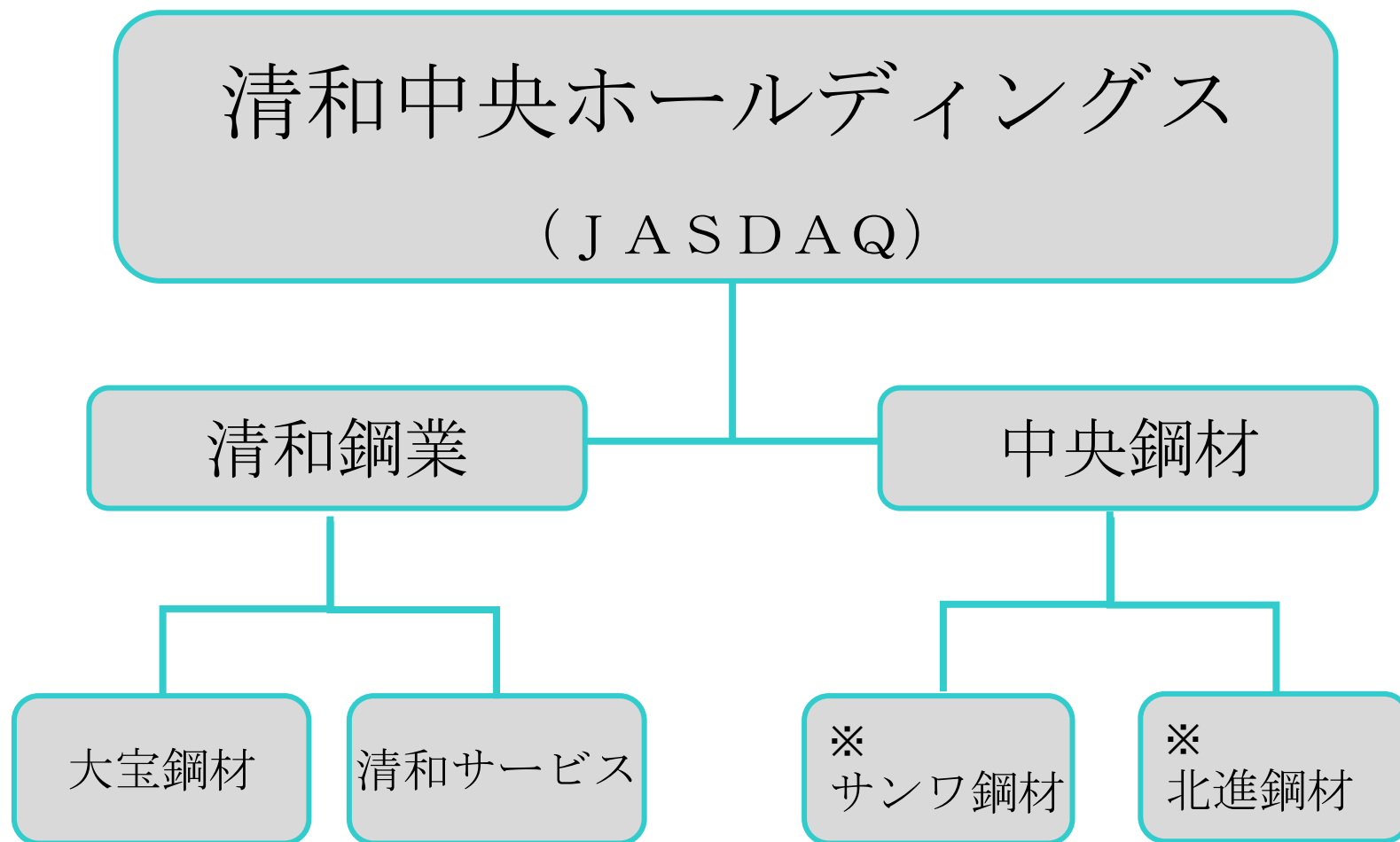
連結業績予想

| | 2018年12月期 実績 | 2019年12月期 実績 | 2020年12月期 業績予想 |
|----------------------------|-----------------|-----------------|-------------------|
| 売上数量 千トン | 494 | 476 | 422 |
| 売上高 百万円 | 52,179 | 52,910 | 43,000 |
| 営業利益 百万円 | 1,221 | 805 | 70 |
| 経常利益 百万円 | 1,336 | 899 | 150 |
| 税前利益 百万円 | 1,336 | 899 | 150 |
| 親会社株主に帰属する 当期純利益 百万円 | 832 | 598 | 100 |

参考：グループ拠点



参考：グループ体制



※は非連結子会社

【企業理念】

清和中央ホールディングスグループ

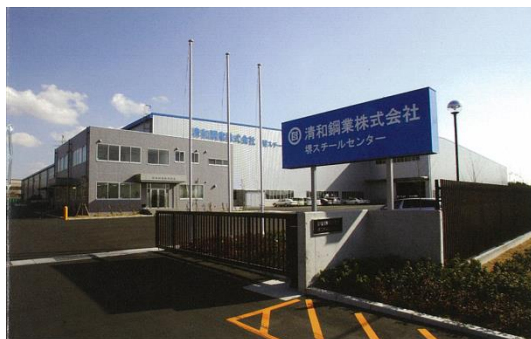
私たちは

ずーっと 取引を続けてよかった

ずーっと 勤め続けてよかった

ずーっと 株主を続けてよかった

と思われる企業を目指します



清和中央ホールディングス



※本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後、様々な要因によって異なる場合があります。